



【基本目標：ii】河川と共にある暮らしの実現

広瀬川が市民の身近な存在であることを再認識してもらえる取組みを推進します。

施策の方向 ③ 広瀬川の健全な水循環の推進

市民生活の多方面に利用されている広瀬川の水資源について、行政と関係者が連携しながら、流域全体の健全な水循環を目指した取組みを推進します。

例：渇水時における河川環境や利水への影響についての検討など

施策の方向 ④ 広瀬川に関する学びの推進

暮らしの中で広瀬川と日常的に関わってきた方々や、仙台市の教育、子育て、環境などの各部局・団体等とも連携しながら広瀬川に関する自然環境や市民生活、歴史・文化などについての学びの取組みを推進します。

例：河川教育の導入、フィールドワーク、スキルアップ講座など



①



②

- ① 東北工業大学ライフデザイン学部連携事業（学生との広瀬川歩き）
- ② 広瀬川ガイドのためのスキルアップ講座



【基本目標：iii】 治水・利水・親水の推進

広瀬川の安全に利用できる環境づくりとあわせて、水資源の有効な利活用や広瀬川の水辺を楽しめる取組みを推進します。

施策の方向 ⑤ 安全安心な川づくりの推進

河川管理者による治水事業や適切な河川の維持管理を進めるほか、広瀬川での治水や防災等の取組みに対する市民の理解を深めるための取組みを行うことで、官民一体の安全安心な川づくりを推進します。

例：護岸の改修や河道内の土砂浚渫
雨庭などの治水・防災等に関わる取組みへの理解を深める活動 など

施策の方向 ⑥ 広瀬川の水の有効な利活用

広瀬川の水により潤いのある市民生活を実現するため、河川管理者や利水者などが情報共有を行いながら限りある水資源の有効な利活用を推進します。

例：名取川水系渇水情報連絡会、水力発電や農業用水に関する取組み など

施策の方向 ⑦ 水辺空間を楽しめる取組みの推進

世代や国籍の違い、障がいの有無なども含め、多様な市民の誰もが広瀬川で気軽に親しめるような親水空間づくりにより、広瀬川沿いにある関連施設と連携しながら水辺の利活用を促進する取組みを推進します。

例：河川敷内の散策路や広瀬川に隣接する公園の整備、「せせらぎ水路」の整備
大橋周辺の広瀬川の水辺利活用 など



① 非かんがい期通水事業 (写真は七郷堀) ② 大橋上流側「せせらぎ水路」



【基本目標：iv】 河川への関心向上

取組事業に参加する市民や来訪者を増やすため、市民等が広瀬川に親しむための取組みを推進します。

施策の方向 ⑧ 市民への情報発信

さまざまな属性や立場の方に情報が伝わるよう配慮しながら、活動団体の取組みやプランの周知・広報を行うなど、広瀬川の魅力に関わる情報を広く発信します。

例：仙台市の「広瀬川ホームページ」や「広瀬川インスタグラム」、散策マップ など

施策の方向 ⑨ 広瀬川に関する催しの実施

誰もが気軽に広瀬川へ訪れる機会を創出し、広瀬川の魅力である歴史や文化、自然環境などを再認識できるイベント等の実施に取り組めます。

例：広瀬川の自然を活かした「広瀬川自然体験学習」
まち歩き・ガイドツアーの開催 など



①



③ 広瀬川ホームページ
<https://www.hirosegawa-net.com/>



②



④



広瀬川インスタグラム
ユーザーネーム
[hiroseriversendai]



① ② 広瀬川自然体験学習 ③ 広瀬川ホームページ ④ 広瀬川インスタグラム



【基本目標：v】 市民協働の仕組みづくり

活動団体同士が連携・協力し取組事業への市民参画を促すとともに、仙台市も活動団体や取組事業を支援し市民協働を推進します。

施策の方向 ⑩ 市民参画型事業の推進

様々な活動目的や背景をもつ活動団体の知識や経験、考え方などを相互に掛け合わせることで、新たな発想やアイデアが生み出されていくよう、それぞれの交流を促進し、団体同士が連携・協力しながら市民参画しやすい事業に取り組めます。

例：広瀬川1万人プロジェクトによる一斉清掃
活動団体同士が連携・協力して実施する「水辺で乾杯」 など

施策の方向 ⑪ 市民活動や団体の支援

広瀬川に関わる市民活動やイベント等を行う活動団体を仙台市が支援します。また、団体同士の連携・協力を促進するためのきっかけづくりや新規活動に対する支援等により、取組事業の継続と新たな取組事業の創出を目指します。

例：活動団体同士の交流会、取組事業に対する仙台市の後援
広瀬川魅力創生サポーター認定制度、重点事業への事業負担金の交付 など



① ② 「水辺で乾杯！」

【各施策の方向における主な取組事業】

■施策の方向① 広瀬川流域の自然環境の保全

取組事業名	内容	主体
河川水辺の国勢調査	河川を「環境」の観点からとらえた生物調査・河川調査・河川空間利用実態調査を定期的に行う。	国土交通省 仙台河川国道事務所
竜の口渓谷多自然川づくり事業	広瀬川の支流である竜の口渓谷へ魚類が遡上できるよう、産学官民連携で支流最下流部の既存落差工へ低コストな切欠き魚道を設置した。 この魚道設置を契機に、市民団体による継続的なモニタリング調査(生息魚類調査)、ワークショップ(維持管理・修繕)、意見交換会などが開催され、市民の河川環境に対する理解・関心を深めることに繋がっている。	(特非)水・環境ネット東北 (国研)土木研究所 (大)宮城教育大学 仙台市建設局河川課
生物多様性保全推進事業	カジカガエルなど仙台にゆかりのある生きものに着目し、多様な主体と連携しながら、自然や生きものと直接ふれあい、その魅力や大切さについて学ぶ機会の充実を図る。	仙台市環境局環境共生課
自然環境に関する基礎調査	保全上重要な動植物、学術上あるいは景観保全上重要な地形・地質、自然現象などについて整理し、様々な環境施策の検討を行う。(5年毎に2年にわたって調査を実施)	
広瀬・名取川水系さけます増殖協会への参加	採卵・放流事業やふ化場管理・整備の助成などを行う協会へ参加し、さけ・ます資源の積極的増殖を図る。	仙台市経済局農林企画課
淡水魚放流事業補助	広瀬川にあゆ、いわな等の稚魚の放流事業を行っている「広瀬名取川漁業協同組合」へ補助を行う。	
外来種植物調査	外来種植物の繁茂により、河川の流水等の機能に支障が生じていることを受け、仙台市河川愛護会による外来種調査を実施し、現状の把握を行う。	仙台市河川愛護会
緑化助成・緑化木交付	広瀬川の清流を守る条例に基づき環境保全区域内での行為を許可した土地において緑化を実施する場合、助成を行う。	仙台市建設局百年の杜推進課

■施策の方向② 広瀬川の清流の保全

取組事業名	内容	主体
広瀬川1万人プロジェクト河川・海岸一斉清掃	仙台市人口1%の1万人をキーワードとして、市民・企業・行政が連携して広瀬川流域を含む河川・海岸一斉清掃や広瀬川学校などの啓発活動を実施する。	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会
「身近な水環境の全国一斉調査」への参加(広瀬川の水質調査)	毎年6月に全国水環境マップ実行委員会が実施する「身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、広瀬川の上流から下流までの数地点の水質調査・水辺観察を行う。	(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
カヌーで河川清掃クリーンアップ広瀬川	毎年8月、お盆翌週の日曜日に開催し、広瀬川の岸辺に漂着したゴミを川の中から清掃する。	仙台市カヌー協会
広瀬川清掃	広瀬橋地区(郡山堰からJR鉄橋までの河川敷両岸)延長約800m区間の清掃活動を行う。	(特非)広瀬川の清流を守る会
みやぎスマイルリバープログラム(アドプト制度)	宮城県管理河川の一定区間において、清掃や除草などの良好な河川環境づくりに取り組むボランティア団体を「スマイルサポーター」として認定し、地域と連携して環境美化を行う。	宮城県 仙台土木事務所
水質・底質調査	河川の水質・底質(泥)及び、広瀬川の清流を守る条例の水質保全区域における工場・事業場の排水を調査する。	仙台市環境局環境対策課
仙台市公共下水道事業(宮城処理区)	平成21年に公共下水道整備は概成したが、引き続き広瀬川の水質保全、公衆衛生の向上を図るため、汚水処理施設の整備事業等を継続する。	仙台市建設局下水道計画課
合流式下水道雨天時越流水対策事業	合流式下水道について、雨天時の越流に対応するための改善事業を実施する。	
仙台市浄化槽事業	広瀬川上流域の下水道区域外の地域で、公設公管理型の浄化槽事業を推進する。	仙台市建設局下水道調整課
河川緑地の除草・清掃	広瀬川河川敷にある河川緑地の除草・清掃を行うなど地域と連携して環境美化に取り組む。 (実施場所)広瀬川牛越緑地、広瀬川仲ノ瀬緑地、広瀬川中河原緑地、広瀬川宮沢緑地、広瀬川若林緑地、広瀬川愛宕緑地、広瀬川飯田緑地、広瀬川八本松緑地	仙台市公園愛護協力会
河川敷の除草・清掃	広瀬川河川敷の除草・清掃を行うなど、地域と連携して環境美化に取り組む。	仙台市河川愛護会
仙台市広瀬川清流保全審議会の運営	広瀬川の清流を守る条例に基づき、広瀬川の清流を守るための重要事項を調査・審議する。	仙台市建設局百年の杜推進課

■施策の方向③ 広瀬川の健全な水循環の推進

取組事業名	内容	主体
広瀬川及び旧芥川環境用水導入事業	流域の水循環により広瀬川の渇水問題を改善するため、既存の水路を活用して名取川から広瀬川へ環境用水を導水する。	実施:仙台地域水循環協議会 事務局:国土交通省 仙台河川国道事務所
河川利用の適正化検討	河川協力団体と連携し、市民目線で見た適正な河川利用のためのルール作りを検討し、河川利用者への啓発活動を実施する。	国土交通省 仙台河川国道事務所
六郷堀・七郷堀非かんがい期通水事業	市民の身近な存在である六郷堀および七郷堀をはじめとした各掘の悪臭抑制、景観改善のため、平成17年1月から開始した非かんがい期通水事業を継続する。	仙台市建設局百年の杜推進課

■施策の方向④ 広瀬川に関する学びの推進

取組事業名	内容	主体
四ツ谷用水再発見事業	広瀬川の四ツ谷堰から取水し、かつての城下町を潤した四ツ谷用水の周知と継承を図るため、四ツ谷用水跡をたどる歩く会、四ツ谷用水フォーラムなどの啓発イベント等を実施する。	仙台市環境局環境共生課
広瀬川の魚・環境の展示	仙台市科学館の常設展示コーナーで、広瀬川の魚全種のアクリル封入標本や水槽による実物展示、広瀬川の源流から河口までの流域模型と水が流れる体感展示を行う。4階常設展示室南側の「宮城・仙台の自然」エリアでは、広瀬川全景の床地図を配置。床地図に合わせて、山地、丘陵地、沿岸部の自然を再現したジオラマや、広瀬川周辺の生き物の標本などを展示し、また、広瀬川を下流から上流へ向かって空を飛んで行くような疑似体験ができる「スカイアドベンチャー」も設置している。	仙台市教育局科学館
総合学習・自然観察会等の学習支援	広瀬川をテーマとする総合学習・自然観察会などの実施への支援・協力をを行う。	
広瀬川自然展示コーナー	片平市民センター内の広瀬川自然展示コーナーにおいて、四谷用水やそれを支える仙台の地質・地形などに関して、プロジェクションマッピングを活用した展示を実施している。	
東北工業大学ライフデザイン学部連携事業	東北工業大学ライフデザイン学部の授業の一環として、学生が広瀬川に訪れ、歴史や環境などについて学ぶ機会を提供する。	(学)東北工業大学 仙台市建設局百年の杜推進課
広瀬川ガイドの養成	広瀬川の魅力を語りながら各スポットを案内する、地域の「広瀬川ガイド」を養成する。	片平市民センター 仙台市建設局百年の杜推進課
杜々かんきょうレスキュー隊事業プログラムNo5「川で遊ぼう～あんぜんに・たのしく・やさしく～」	杜々かんきょうレスキュー隊事業は、杜の都仙台の特色ある自然環境・社会環境を素材に、環境NPOなどが環境学習プログラムを作成し提供する事業で、プログラムを体験し身近な自然や地球を守るために環境に配慮した行動の取れる人(=杜々かんきょうレスキュー隊員)となることを目的としている。作成された環境学習プログラムは、市内の小中学校や保育所等を対象に実施し、普及・活用を行っている。環境学習プログラムのうちの1つ「川で遊ぼう～あんぜんに・たのしく・やさしく～」は、川に入っている活動をする際に適した装備や行動、そして危険箇所等を学ぶと共に、実際に川に入って魚や水生生物を採取し観察する。	FEEL Sendai 杜の都の市民環境教育・学習推進会議

■施策の方向⑤ 安全安心な川づくりの推進

取組事業名	内容	主体
緊急用河川敷道路整備事業	大地震等の大災害時において、被災者の救援活動、被災地の復旧活動及び物資の輸送などに活用できる緊急用河川敷道路を整備する。	国土交通省 仙台河川国道事務所
非接触型流量観測(画像処理型流速測定)	治水計画立案や工事の実施、また、大規模洪水時の基礎資料を収集する目的で、広瀬橋へ画像処理型流速測定機器を設置し、非接触型流量観測を実施している。流量観測の効率化(DX)や安全管理の徹底のため、従来の浮子(高水流量観測)を用いた流速観測から非接触型流量観測に変更している。	
中洲・寄州の樹木管理	中洲・寄州の樹木や土砂について、平成17年に策定した広瀬川管理計画に基づき適正管理を行う。	宮城県 仙台土木事務所
広瀬川環境管理協議会	広瀬川管理計画に基づく管理を行い、周辺状況の変化など必要に応じて協議会を開催する。	
護岸の改修・修景	コンクリート護岸の老朽化に伴う改修を行う。また、同時に修景を必要な箇所ですら順次対応する。	国土交通省 仙台河川国道事務所 宮城県 仙台土木事務所
当事者との調整	河川敷の占用をしている人や団体との調整を行い、不法占用を解消する。(広瀬橋から下流は国が、広瀬橋から上流は県がそれぞれ実施)	
愛宕堰改修事業	老朽化の著しい固定堰を利水・治水・環境に配慮した新堰に改修する。	仙台市経済局農業土木課

■施策の方向⑥ 広瀬川の水の有効な利活用

取組事業名	内容	主体
広瀬川及び旧沢川環境用水導入事業【再掲】	流域の水循環により広瀬川の渇水問題を改善するため、既存の水路を活用して名取川から広瀬川へ環境用水を導水する。	実施: 仙台地域水循環協議会 事務局: 国土交通省 仙台河川国道事務所
河川利用の適正化検討【再掲】	河川協力団体と連携し、市民目線で見た適正な河川利用のためのルール作りを検討し、河川利用者への啓発活動を実施する。	国土交通省 仙台河川国道事務所
六郷堀・七郷堀非かんがい期通水事業【再掲】	市民の身近な存在である六郷堀および七郷堀をはじめとした各堀の悪臭抑制、景観改善のため、平成17年1月から開始した非かんがい期通水事業を継続する。	仙台市建設局百年の杜推進課

■施策の方向⑦ 水辺空間を楽しめる取組みの推進

取組事業名	内容	主体
親水空間の利活用の検討推進	広瀬川における親水空間の利活用を推進するための検討を行う。	広瀬川市民会議
せんだいセントラルパーク構想	杜の都仙台のシンボルである青葉山や広瀬川が地下鉄東西線と交差する広瀬川流域一帯において、資源発掘や“5つの楽しみ方 佇むピクニック・巡るまち歩き・集うマーケット・知るミュージアム・食のカフェレストラン”を提案し、市民の参加・共感の輪を広げる。	(特非)都市デザインワークス
大橋リバーフロントプロジェクト	大橋を中心とした広瀬川河川空間および広瀬川に面する青葉山公園・仙臺緑彩館、西公園、住宅・店舗や、その庭先などのまち空間を一体的なせんだいセントラルパーク重点エリアと位置づけ、都市生活や賑わい活動の小さな拠点(パークハウス)を設置し、沈下橋や潜り堰、または飛び石による歩行者ネットワークを創出するなどして、広瀬川大橋周辺を市民や観光客が訪れることができる名所とする。	
仙台市遊び場展開事業	こどもの遊びの環境を充実させることを目的に、広瀬川河川敷および西公園多目的広場などに、こどもの遊び場を一時的に仮設し、こども達が自発的に遊ぶ機会を提供するとともに、プレーパーク活動の啓発や担い手の発掘、遊びを引き出すスタッフの育成を行う。	仙台市こども若者局子育て応援都市推進課
屋内遊び場基本計画の策定	こどもの遊びの環境を充実させるため、西公園南側エリアに本市の魅力の一つである豊かな自然を活かした遊びや、屋外での遊びとの連続性をもたせた施設の整備に向けた基本計画を策定する。	
青葉山公園整備事業	藩政時代からの歴史的・文化的資源や自然景観を活かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる杜の都のシンボルとなる公園として整備する。	仙台市建設局公園整備課
西公園再整備事業	樹林や広瀬川の自然を活かしつつ、多様な市民活動が展開される「やすらぎとにぎわいの空間づくり」をテーマに、市街地の「みどりの回廊」の拠点にふさわしい公園として再整備する。	
広瀬川(大橋周辺)水辺利活用の検討	青葉山エリアの新たな魅力を創出し、都心部との回遊性向上を図るため、市民などが気軽に楽しめる広瀬川(大橋周辺)の水辺利活用について検討を行う。	仙台市建設局百年の杜推進課

■施策の方向⑧ 市民への情報発信

取組事業名	内容	主体
広瀬川創生プランにおける重点事業の活動内容の発信	重点事業に認定した取組みがモデルケースとなることを目指し、より具体的な活動内容を発信する。	広瀬川創生プラン策定推進協議会 仙台市建設局百年の杜推進課
広瀬川魅力創生サポーターの認定状況および活動内容の発信	広瀬川グリーンサポーターやゴールドサポーターの認定状況および活動内容を発信する。	
「水の神さま」プロジェクト	地域に祀られている龍神碑・水神碑・不動尊など水にまつわる神さまを題材に、地元住民へのヒアリングを通して、地域住民の水に対する思いや水辺の変化などを踏査・発信する。震災後は沿岸地域を中心に実施。	(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
広瀬川何でも相談室	広瀬川に関する質問、意見に対しワンストップで回答。また、相談に基づく行政への提言活動など。	(特非)広瀬川の清流を守る会
関山街道の四季フォトコンテスト	宮城・山形両県をつなぐ関山街道(国道48号)沿線の四季折々の魅力を写したお気に入りの写真を募集する。	関山街道フォーラム協議会
白沢カルデラ外輪山を歩こう会(白沢カルデラ実働部隊)	白沢カルデラ・広瀬川の地質、地形などの自然資産を活かして、地域における大地の成り立ちや歴史を学び、将来的には広瀬川ジオパークとしての登録を目指す。	白沢カルデラプロジェクト実行委員会
歩こう動こう脱メタボプロジェクト～アールクワーク仙台～	歩くことを促すウォーキングイベントの開催と、特設ウェブサイトで身体を動かすきっかけを増やせるような情報や、健康づくり全般に関する情報発信を行う。	仙台市健康福祉局健康政策課
広瀬川の魚・環境の展示【再掲】	仙台市科学館の常設展示コーナーで、広瀬川の魚全種のアクリル封入標本や水槽による実物展示、広瀬川の源流から河口までの流域模型と水が流れる体感展示を行う。4階常設展示室南側の「宮城・仙台の自然」エリアでは、広瀬川全景の床地図を配置。床地図に合わせて、山地、丘陵地、沿岸部の自然を再現したジオラマや、広瀬川周辺の生き物の標本などを展示し、また、広瀬川を下流から上流へ向かって空を飛んで行くような疑似体験ができる「スカイアドベンチャー」も設置している。	仙台市教育局科学館
広瀬川自然展示コーナー【再掲】	片平市民センター内の広瀬川自然展示コーナーにおいて、四谷用水やそれを支える仙台の地質・地形などに関して、プロジェクションマッピングを活用した展示を実施している。	
広瀬川ホームページ	広瀬川に関する自然・歴史・文化・市民活動・インタビュー・研究レポートなど、多様な情報発信と意見交換の場を提供する。	仙台市建設局百年の杜推進課
仙台市公式 #広瀬川 Instagramに掲載する情報収集と更新	プランに関わる各活動団体や広瀬川に関する行政の取組みをInstagramを通じて情報発信する。	#広瀬川 インスタクラブ 仙台市建設局百年の杜推進課

■施策の方向⑨ 広瀬川に関する催しの実施

取組事業名	内容	主体
定例探鳥会の実施	大橋からの野鳥観察を含む青葉山定例探鳥会を、原則として毎月第1日曜日に、青葉山平日探鳥会を5月と12月に、千代大橋付近の野鳥を観察する広瀬川下流探鳥会を3月に開催する(予定)。	(公財)日本野鳥の会 宮城県支部
カヌーで河川清掃クリーンアップ広瀬川【再掲】	毎年8月、お盆翌週の日曜日に開催し、広瀬川の岸辺に漂着したゴミを川の中から清掃する。	仙台市カヌー協会
カヌーリバーレスキュー・ワークショップ	川遊びをされる多くの皆さんを対象に、リバーピープル必須のレスキュー方法をワークショップ形式で開催する。	
広瀬川カヌーツーリング・そのためのレッスン	5~11月に広瀬川でカヌーツーリングを楽しむための4回シリーズのカヌーレッスンを開催する。	
カヌー体験会	河川清掃後などのイベントに合わせて「カヌー体験会」を1シーズンに4~5回開催する。	
水辺で乾杯	全国的な水辺でのイベント(ミズベリング)であり、7月7日午後7時7分に水辺に集まり乾杯する。	(特非)都市デザインワークス
もりの庭園 雨庭づくり	仙台市第一号の雨庭「もりの庭園」を市民の力で、もっと魅力的な場所にする。	(特非)都市デザインワークス 青葉山エリアマネジメント 青葉山・八木山フットパスの会
広瀬川灯ろう流し・光と水のコンサートのタバ	夏の風物詩として、先祖や大切な人への思いを馳せる灯ろう流しや打ち上げ花火、地域団体のステージ発表などを実施する。	広瀬川灯ろう流し実行委員会
四ツ谷用水再発見事業【再掲】	広瀬川の四ツ谷堰から取水し、かつての城下町を潤した四ツ谷用水の周知と継承を図るため、四ツ谷用水跡をたどる歩く会、四ツ谷用水フォーラムなどの啓発イベント等を実施する。	仙台市環境局環境共生課
広瀬川自然体験学習	川の生き物探しやカヌー体験、川での安全な歩き方などを学びながら自然豊かな広瀬川を体感してもらう。	仙台市建設局百年の杜推進課
広瀬川スマホ写真教室	広瀬川沿いの見どころを徒歩で巡りながら、スマートフォンによる写真撮影の仕方や編集などの基本について学ぶことで、広瀬川への意識の醸成を目指す。	
広瀬川界限ぶらり散歩	市民センターで養成した広瀬川ボランティアガイド「広瀬川をゆっくり歩く会」の案内で、広瀬川を中心に地域をめぐり、魅力を伝える。	片平市民センター 仙台市建設局百年の杜推進課

■施策の方向⑩ 市民参画型事業の推進

取組事業名	内容	主体
広瀬川創生プランにおける重点事業の推進	市民やNPOなどの各主体が協働し、多様な人々が広く参加できる取組みなどを重点事業に認定し、その活動を推進する。	広瀬川創生プラン策定推進協議会 仙台市建設局百年の杜推進課
広瀬川1万人プロジェクト 河川・海岸一斉清掃【再掲】	仙台市人口1%の1万人をキーワードとして、市民・企業・行政が連携して広瀬川流域を含む河川・海岸一斉清掃や広瀬川学校などの啓発活動を実施する。	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会
水辺で乾杯【再掲】	全国的な水辺でのイベント(ミズベリング)であり、7月7日午後7時7分に水辺に集まり乾杯する。	(特非)都市デザインワークス

■施策の方向⑪ 市民活動や団体の支援

取組事業名	内容	主体
市民協働事業の推進	広瀬川に関わる市民参加型事業の企画を行い、市民協働の取組みを推進する。	仙台市建設局百年の杜推進課
市民センターとの連携	各市民センターで行われる広瀬川に関わる事業を広瀬川ホームページなどに掲載するほか、講師の紹介・派遣を行うなど市民センターとの連携を推進する。	